

あいおい損害保険 中国に拠点拡大

6月に上海、広州に駐在員事務所を開設

2004年5月20日

あいおい損害保険株式会社（社長 児玉 正之）は、中国における顧客対応力強化の一環として、事務所体制の拡充を進めて参りましたが、今般5月17日付けにて中国保険監督管理委員会の認可を取得し、6月より新たに上海および広州の2ヵ所に駐在員事務所を開設します。

本認可取得により、当社の中国における拠点は5ヶ所（北京・天津・上海・広州・香港）となり、より迅速な現地に密着した保険サービスの提供が可能となりました。

上海地区は既に多くの日本企業が進出しており、今後も更なる企業の進出が見込まれる地域です。また、広州地区はトヨタ自動車等の進出に伴い、今後多くの部品メーカー等の関連企業が生産拠点を構築することが見込まれ、当社の顧客対応にはいずれも拠点設置が欠かせない地域であります。とりわけ広州地区は、今後の中国南部における自動車産業の拠点となり、更なる経済発展が予想され、中国における保険市場としても重要な地域ととらえています。

今後、当社は中国市場での日系顧客ニーズに対応した進出支援体制、保険サービス体制の強化、充実を行うと共に、現地資本企業開拓の検討、および将来の更なる保険市場の開放を視野に入れ、日本車ユーザーへの自動車保険販売をベースとした中国のリテール保険市場への参入の検討を進めていきます。

以上

< 別紙 > 最近の中国関連取組み状況

< 別紙 >

最近の中国関連取組み状況

中国室設置（2003年6月）

中国における事業戦略強化のため、本社国際部部内に中国室を設置。
中国のWTO加盟後、日系企業の対中進出が年々増加していること、ならびに段階的な保険市場の開放により外国保険会社の活動範囲がリテール分野へも広がることが期待されることを背景に、中国室を設置し、当社の中国事業戦略を加速させることとしました。

天津で卓球大会の開催（2003年11月1～2日）

トヨタ自動車の生産拠点のある天津において、卓球大会を開催。
日本、中国、韓国、香港の4カ国の選手を招いてトヨタ自動車と「トヨタカップ国際卓球招待大会」を共同開催し、4カ国の親睦を図りました。
日本からは福原愛選手も参加しました。
（主催：中国卓球協会、後援：日本卓球協会）

中国進出セミナー開催（2003年11月19日 - 東京、2004年3月3日 - 名古屋）

中国進出を検討している企業を対象に、東京および名古屋でセミナーを開催。
「中国での『ビジネス慣習の根源』を知ろう！」というテーマで中国における人事、労務管理を中心とした内容で開催し、多くの参加者を得ました。
（参加者数 東京：200人、名古屋：130人）

北京交通安全フォーラム協賛（2004年4月18日～21日）

中国の公安当局、交通安全協会主催の交通安全フォーラムに協賛。
急激にモータリゼーションが進む中国では、交通事故の軽減が重要な課題です。中国での交通安全の推進や自動車文化の健全な発展の為に、トヨタ自動車と共に、展示会、フォーラムに参画しました。